


研修員's VOICE

Vol. 7

世界各国からJICA沖縄にやって来た
研修員を紹介しています。



氏名: Mr. KAMALI Alireza (アリさん)

国名: イラン・イスラム共和国 

コース名: バイオマスの活用による持続可能な
地域開発

滞在期間: 2017年9月27日 ~ 2017年12月9日

イランってどんな国ですか？

人口約8,100万人、面積約164万km²のイランは東はアフガニスタン、パキスタン、西はトルコ、イラク、南はペルシア湾、北はアルメニア、アゼルバイジャン、トルクメニスタン、カスピ海と接しています。世界有数の産油国で、公用語はペルシア語、国民の大半はイスラム教を信仰し、政治、経済、社会にもイスラム文化が浸透しています。イラン文化は中東地域で最も歴史が古く、ヨーロッパ、ロシア、アジア等の文化にも影響を与えました。



ノウルーズ(イラン暦の新年)は家族でお祝いします



バイオエタノールの抽出実験

JICAでの研修の目的は？

温室効果ガスを削減する代替エネルギー、すなわちバイオマスエネルギーについて学ぶために研修に参加しました。琉球大学の農学部で研修を行っていますが、地球温暖化が農業に及ぼす影響について学ぶことは非常に興味深く有益です。帰国後はバイオマスの知識の移転、バイオマスエネルギーの特定や評価、バイオマス資源からのエネルギー生成を計画していきたいと思います。

沖縄での生活はどうですか？

沖縄には人気の観光スポットが多く、美ら海水族館やビーチ、離島も楽しみましたし、那覇大綱引きや首里城で豊かな文化も体験しました。暖かく過ごしやすい気候もさることながら、人々の優しさには日々感銘を受けています。研修先の琉球大学では日本人学生とも交流し、楽しい毎日を送っています。



クラスメートと琉装体験をしました